



# 大六小だより

令和 2年 2月21日  
練馬区立大泉第六小学校  
校長 西野 國子  
臨時号

教育目標 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

## 学力調査・体力調査報告

今年度も学力調査・体力調査を行ってきました。校内で学力向上委員会や体育行事委員会が結果を分析し、日々の指導に生かしています。また、次年度の学習の計画・指導に生かして参ります。

4月に全国の6年生を対象とした全国学力・学習状況調査が、7月には東京都の5年生を対象とした児童・生徒の学力向上を図るための調査が行われました。どちらの調査についても9月以降に個々の結果を5・6年生の保護者にお配りしました。学年の結果は以下の通りです。

### 平成31年度・令和元年度 全国学力・学習状況調査（6年）

平均正答率 4月18日実施

	国語	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語文化
大六小	71.0	79.4	57.1	87.3	64.1
全国	63.8	72.3	54.5	81.7	53.5
東京都	65.0	73.1	55.4	83.0	55.7

	算数	数と計算	量と測定	図形	数量関係	考え方	技能	知識・理解
大六小	74.0	70.3	62.4	85.7	75.3	70.4	83.3	69.8
全国	66.6	63.2	52.9	76.7	68.3	62.2	73.6	70.1
東京都	70.0	66.7	57.5	79.0	72.2	65.5	77.2	72.7

(国語)

全ての項目で国・都の平均を上回っています。特に「言語文化」の得点が高いという結果でした。今後も引き続き確実な基礎・基本の定着とともに、主体的に伝え合う力を伸ばしていきます。

(算数)

知識・理解で都平均を下回ったものの他の全ての項目で国・都の平均を上回っています。「量と測定」では大幅に平均を上回りました。習熟度別少人数指導を生かし、計算の技能や基本的な知識理解など、基礎・基本の定着を図り、その力を活用できるよう指導をさらに充実させていきます。

# 平成31年度・令和元年度 東京都

## 児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年）

平均正答率 7月4日実施

		教科の内容				
		合計	思考・判断・表現	技能(国語：話す・聞く)	知識・理解(国語：言語)	読む
国語	大六小	70.1	69.3	69.3	71.9	68.4
	東京都	67.6	65.3	70.4	67.4	67.4
社会	大六小	73.0	70.9	73.9	73.6	
	東京都	66.7	63.5	66.8	70.6	
算数	大六小	64.0	49.0	69.9	72.3	
	東京都	60.1	47.2	65.0	67.6	
理科	大六小	60.9	56.3	70.2	60.3	
	東京都	56.8	53.0	67.0	55.0	

### (国語)

ほとんどの項目で都の平均を上回りましたが、「話す・聞く」は都の平均を下回りました。自分の考えを伝えることはできるようになってきましたが、相手の言いたいことを理解して聞くことに課題が見られました。グループでの話合いや発表の中で、相手の考えに付け足しをしたり、質問をしたりしながら話し合う力を養っていきます。

### (社会)

全ての項目で都の平均を上回りました。今後も、単元の振り返りをそれまでの学習結果を活用して記述させたり、社会事象の意味について考えさせたりすることを通し、つながりを意識した学習を進めていきます。

### (算数)

全ての項目で都の平均を上回りました。思考・判断・表現の領域は平均を上回ったものの、課題もあります。ただ計算するだけでなく、なぜそのような計算にしたのか説明できるような学習を進めていきます。

### (理科)

全ての項目で都の平均を上回りました。獲得した知識・理解を、実験などの具体的な事象と結びつけを意識した学習を進めていきます。

### (まとめ)

どの教科においても、問題の意図を正確に読み取り考えたことを表現する力が求められています。こうした力が育つよう、学習のめあてを意識し、問いに対する予想や自分の考えを書いたり、友達と話し合ったりして深め、学んだことを自分の言葉でまとめるという活動を日々のどの教科でも大切にしていきたいと思います。

## 新体力テストの結果について

今年の体力テストの分析をお知らせいたします。分析結果を参考に、ご家庭でも休日などを利用して運動の機会をもっといただければ幸いです。

### 1 各学年の分析

学年	平均値以上	平均値	平均値以下	体力合計点	
				昨年	今年
1年男子	長座体前屈		握力、上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	29.8	29.4
1年女子		上体起こし	握力、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び	29.7	29.3
2年男子	ソフトボール投げ	20m シャトルラン	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m 走、立ち幅跳び	37.4	37.0
2年女子		ソフトボール投げ	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走立ち幅跳び	37.5	37.2
3年男子	20m シャトルラン	50m 走、ソフトボール投げ	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び	43.6	43.2
3年女子	20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ		握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び	44.0	43.6
4年男子		20m シャトルラン、ソフトボール投げ	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m 走、立ち幅跳び	49.5	48.9
4年女子	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ		握力、長座体前屈、立ち幅跳び	50.4	50.0
5年男子	20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ	長座体前屈	握力、上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳び	54.6	54.2
5年女子	上体起こし、長座体前屈、20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ	反復横跳び	握力、立ち幅跳び	56.2	55.9
6年男子	上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走		握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	60.3	59.6
6年女子	上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ		握力、立ち幅跳び	61.7	61.1

※東京都の体力合計点平均を参考に分析をしています。

※体力合計点は個人票の体力合計点を学年男女別に平均したものです。

## 2 結果と分析

全校でみると男子はシャトルランが東京都の平均値より高い傾向にあり、握力、上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳びが低い傾向にあります。また、女子では、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げが、東京都の平均より高い傾向にあり、握力、長座体前屈、立ち幅跳びは平均値より低い傾向にあります。

また、1年、2年、3年、4年男子は都平均を下回っている種目が多く、4年女子、5年、6年は都平均を上回っている種目が多くなっています。これは、各行事、体育などで体を動かすことを繰り返し行ってきた成果だと考えられます。ご家庭でも、低学年のうちから、外で遊ぶ、体を動かす機会を増やし、体力向上に努めていただくことが大切になります。

体力を高めていくためには、体育の授業だけではなく、日常の遊びの充実が不可欠です。握力を高めるためには、遊具やアスレチックを使っての遊びの中でつかむ、ぶら下がる、よじ登るなどの運動経験をたくさん積むことが有効です。手にまめができるほど、遊具を使って遊ぶことが理想です。また、特に低学年から中学年までの期間は、一般的に「ゴールデンエイジ」と言われ神経系の発達が発達する時期です。様々な運動、遊びの経験を積むことで、体がいろいろな動きを獲得します。ボール遊びだけでなく、固定遊具やアスレチックでの遊びやおに遊び、投げる、跳ぶ、走る、支える、くぐる、よじ登るなど様々な動きを体験することで体力をつけていく素地を養っていくことができます。高学年は、自分の体力について知り、意欲をもって運動に取り組み、体力の向上を図っていくことができるとよいです。

本校の実践として、①「体育授業の工夫・なわとび旬間・ペースランニング月間」  
②「外遊び・学級遊びの奨励」 ③「食育・健康教育の推進」 ④「心の健康作り（相談体制の充実）」を行ってきました。

## 3 体力向上につながる遊びや運動

伸ばしたい力	体力向上につながる遊びや運動
握力	・登る、ぶら下がるなどの運動 (固定遊具やアスレチックでの遊び) ・お手伝いなどでのぞうきん絞り
長座体前屈 (柔軟性)	・ストレッチ ・固定遊具やアスレチックでの遊び ※くぐる、よじ登る、とびこえるなど日常にない、いろいろな動きをする中で、体の可動域は広がっていきます。
反復横跳び (主に俊敏性)	・人をかわす動きが伴う運動 (しっぽとりおになどのおに遊び)
20mシャトルラン (主に持久力)	・身体を長く継続して動かす運動 (ペースランニング、リズムなわとび、水泳、おにごっこなど)
立ち幅跳び 50m走 (主に瞬発力)	・全力でジャンプしたり走ったりする運動 (なわとび、けんけんぱ、飛び石ジャンプ、おにごっこなど)
ソフトボール投げ (投げる力)	・投げる運動 (ハンドボール投げ、キャッチボール、紙鉄砲、メンコなど)
上体起こし	・体幹を支える姿勢保持 (鉄棒、ブランコ、マット運動など) ※普段から良い姿勢を保持することで鍛えられます。